

大阪市都心部方言の比喩語について

著者 鏑木 昌博

はじめに

1. 調査対象地：大阪府中央区内久宝町2丁目。内久宝町は市内中心部の商業地域で、船場のやや東に位置する。内久宝町2丁目は、上町台地の最高地点にあり、すぐ東には難波宮跡、北東には大阪城がある。
2. 調査年月日時：1992年12月22日午後1時～2時
3. 話者：氏家由起子氏（昭和3年1月27日生まれ。満64才）他に60歳代の男性2名に補助調査を行った。
4. 調査者・調査場所：鏑木 昌博、鏑木宅
5. 調査方法：「方言資料叢刊 第3巻 調査票」に基づく面接調査
6. アクセントは、声の上がり下がり、「^ハ」で表す。拍内下降は「^レ」で表す。

I 《自然現象》

- | | | |
|--------|-------------------|-----|
| 1 日照り雨 | キツネノ「ヨメイリ」（狐の嫁入り） | 中・老 |
| 2 入道雲 | 「ニュードー」グモ | |
| 3 旋風 | 「ツムジ」カゼ | |
| 4 霜柱 | 「シモバ」シラ | |
| 5 つらら | ツラ「ラ | |
| 6 北斗七星 | 「ホクトシチ」セー | |
| 7 昴 | 該当語なし | |
| 8 流れ星 | ナガ「レ」ボシ | |

II 《動物》

- | | | |
|----------|-----------|-------------------------|
| 9 かわはぎ | 「ウマズラ（馬面） | ※かわはぎの頭の部分が馬面に似ているから。老古 |
| 10 ひらめ | ヒラ「メ | |
| 11 ひきがえる | 該当語なし | |
| 12 青大将 | アオ「ダ」イショー | |
| | 「クチナワ（口縄） | ※蛇全般の意味 古 |
| 13 とかげ | ト「カ」ゲ | |
| 14 かまきり | カマ「キ」リ | |

- 15 みずすまし 「ミズス」マシ
 16 きつつき キ「ツ」ツキ
 17 せきれい 該当語なし
 18 ふくろう 「フク」ロー

III 《植物》

- 19 馬鈴薯 ジャガイ「モ
 バ「レ」ーショ
 20 とうもろこし 「ナンバ」キビ (南蛮黍) 中・老
 「ナンバ (南蛮) 中・老
 21 いんげん豆 「サンド」マメ (三度豆) ※一年に三度取れることから。
 「イ」ンゲン
 22 そら豆 オ「タ」フク
 オタフ「ク」マメ ※形がお多福に似ていることから
 23 木くらげ 「キ」クラゲ
 24 げんのしょうこ 該当語なし
 25 どくだみ 該当語なし
 26 いたどり 該当語なし
 27 からすうり 該当語なし
 28 すみれ スミ「レ
 29 春蘭 該当語なし
 30 母子草 該当語なし
 31 ねむの木 該当語なし

IV 《性向》

- 32 熱しやすく冷めやすい人 「ミッカボ」ーズ (三日坊主) 飽きっぽい人のこと
 33 あわてん坊 ガ「サ」 <名>
 「ガサ」ツイ <形>
 34 動作の鈍い人 ノ「ロ」マ <名>
 カ「メ」(亀) <名>
 「ト」ロイ <形>
 「トロク」サイ <形>
 35 嘘つき ウ「ソ」ノサンバ「チ (嘘の三八) <名>
 センミ「ツ (千のうち三つ) ※千のうち三つ本
 当のことを言う。 <聞いたことある> <名>

古

- ウソ「ツ」キ <名>
- 36 ほらふき 「オーブ」ロシキ (大風呂敷) <名>
- 37 おしゃべり シャ「べ」リ <名>
- 38 冗談言い チョ「ケ」 <名>
- 39 口先だけの人 「フロヤノカマ (風呂屋の釜) ※「湯ばかり」と
「言うばかり」の洒落
- 40 とんちんかんなことを言う人 スカ「タ」ン <形動>
○ アノ ヒト「ワ」スカ「タ」ンナ コト 「ユー シ」トヤ。
あの人はとんちんかんなことを言う人だ。
- 41 のらりくらり煮えきらない人 ジュンサ「イ」ナ ヒト<提示> ※ちゃらんぼ
らんな人に使う。
- 42 怒りっぽい人 「ムコッバラタ」テ <名>
キミジ「カ」 <形動>
ハラ「タ」テ <名>
- 43 気むらな人 キム「ラ」 <形動>
- 44 泣き虫 ナキ「ム」シ <名>
○「コノ コー」ナガナキ「スル コー」ヤ 「ナ」ー。
この子は長泣きする子だねえ。
- 45 おてんば娘 オ「キャ」ン <名>
「オトコマ」サリ (男勝り) <名>
オ「ハ」チ <名> 古
- 46 腕白坊主 「ヤンチャ」 <形動>
- 47 出しゃばり デシャ「バ」リ <形動>
- 48 どこへでも顔を出す人 デ「べ」ソ (出臍) <名> 老
「デズキ (出好き) <形動>
- 50 小心者 「ノミノ」シンゾ「ー (蚤の心臓) <名>
- 51 内弁慶 「ウチべ」ンケー <名>
「ウチイリガワ」ルイ (内入りが悪い)
- 52 人づきあいをしない人、社交性のない人 該当語なし
- 53 妻に対して頭の上がない男 「シ」リニ「シカレツバナシ (尻に敷かれっぱなし)
- 54 けち ケ「チ」 <名>
シブ「チ」ン <名>
ダシギタ「ナ」イ (出し汚い) <形>

「シミツレ <名> ※うだつの上がない感じ。

55 欲張り

「ヨクボケ <名>

V 《食生活》

56 大食漢

オーグ「イ (大食い) <名>

「オーグ」ライ (大食らい) <名>

57 ぼたもち

ボタ「モ」チ <名>

オ「ハ」ギ <名>

58 砂糖味が薄い

○「サトーヤノ カ」ド 「ハシッテン ナ」ー。

砂糖屋の角を走っているなあ。

60 大酒飲み

「オーザケノ」ミ <名>

61 酒に酔ってくだをまく

該当語なし

62 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま

アシガラヤマノ「キ」ントキサシ (足柄山の金時
さん) 老古

「キ」ントキサシノ「カジミ」マイ (金時さんの火
事見舞い) 老古

V 《動作・様態》

63 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま 該当語なし

64 どしゃ降りの雨

ドシャブ「リ

「バケツノ ミズ ヒックリカ」エシタヨーナ

(バケツの水ひっくりかえしたような)

65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま

「ヌレネ」ズミ (濡れ鼠) <名>

ズブヌ「レ <名>

66 服装がだらしないさま

ダラ「シ」ナイ <名>

67 髭がのび放題なさま

「ブショー」ヒゲ (無精髭) <名>

68 厚化粧している人

「シラカベ (白壁) <名> 古

オシロ「イ」ツポニ 「ハ」マッタヨーナ

(白粉壺にはまったような)

69 背丈の高い人

ノッ「ボ」 <名>

「ウ」ドノ タイボ「ク (独活の大木)

○「ウ」ドノ タイボ「ク ハ」シラニ 「ナ」ラン。

独活の大木柱にならん。

- 70 出びたい テ「ボ」 <名>
 テボ「チ」ン <名> ※ひたいのこと。
- 71 汗がひたいから流れ落ちる
 ○ ア「セ」ガ 「タキノ ヨ」ーニ 「ナガレテン ナ」ー。
 汗が滝のように流れているなあ。
- 72 目を丸くする 該当語なし
- 73 口をとがらす 「クチオ トガラス」
- 74 焦げ臭いにおい カンコ「ク」サイ <形> 老 古 ※何のにおいかわからないが何となく紙の焦げたようなにおいがすること。
- 75 遠廻り トー「マ」ーリ <名>
- 76 末っ子 オトン「ボ」 <名>
- 77 一生懸命頑張る 「キバル」 <動>

まとめ

1. 自然現象、動植物に関しては、都市部ゆえ、あまりなじみがなく、語も多く得られなかった。特に動植物に関しては、語のみならずその物さえ知られていないものが多くあった。
2. 39. 口先だけの人の「風呂屋の釜」のような洒落言葉は、落語・漫才をはじめとするお笑い芸の本場だけに、実生活では単発的に多用されているものと思われる。また、それが万人の間で定着すると、新鮮味がなくなるため、かえって使われなくなってしまいうようなこともあるように思われる。
3. 2拍の、人をけなす意味を持つ性向語彙のアクセントは、○「○」である場合が多い。例、ガ「サ」・チョ「ケ」・ケ「チ」・テ「ボ」など。

(かぶらぎまさひろ 大阪市立此花工業高等学校)